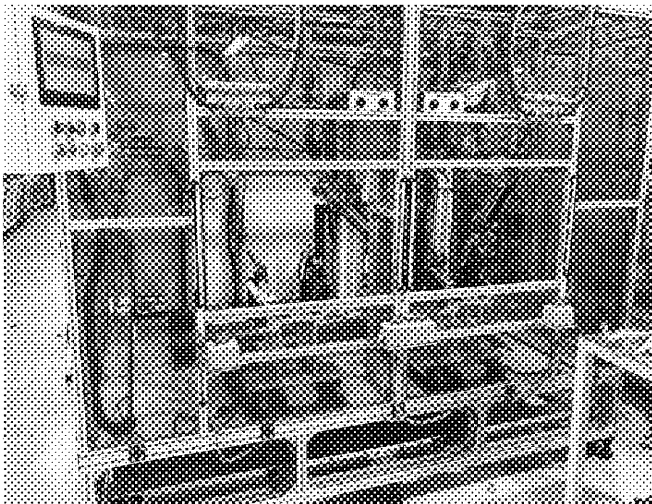


# 中小に生産自動化設備

T R C 高 田



## ロウ付け溶接装置投入

【浜松】ティーアールシー高田（T R C 高田、浜松市西区、高田修平社長）は、主力の自動車部品に続く事業の柱として生産設備関連事業を育てる。自動車部品の知見などを生かした、中小企業向けロウ付け溶接の自動化設備を2023年春にも開発し事業を拡大する。同社の設備関連は21年9月期で売上高4000万円ほど。24年9月期に主に自動車部品で同6億円を見込む中、設備関連は同3億円に伸ばす計画だ。

T R C 高田は生産設備などを組み合わせた設備関連では、ロウ付け溶接の自動化設備に力を入れる。同社はロウ付け溶接の自動化のニーズを受け、大手給湯器メーカー向け設備を20年に開発した。同社のロウ付け自動化設備は電動アクチュエーター▲

T R C 高田は中小向けロウ付け溶接自動化設備を開発し生産設備関連を拡販する

↑ T R C 高田は中小向けロウ付け溶接自動化設備を開発し生産設備関連を拡販する

## 車部品の知見生かす

の自動化装置とし、顧客の裾野を広げる。

高田社長は「従来設備は2000万円ほどかかるが、工夫して価格を500万円ほどに抑えたい」と語る。ま

ず22年秋にも自社で導入して実証し、課題などを探る。ロウ付け溶接は職人の高齢化などが課題となっており、自動化を進めることで品質の安定化にもつながるとみる。

T R C 高田は車体、排気系などの自動車部品や生産設備に加え、鉛バッテリーに比べて環境性能や安全性などに優れる、リチウム鉄リン系複合酸化物バッテリーを開発する計画だ。廉価かつ小型で使